

はもりあだより

Vol.7
2022.6

6月23日~29日は「男女共同参画週間」です

三重県内
男女共同参画
連携映画祭
2022

「老後の資金がありません！」



© 2021映画「老後の資金がありません！」製作委員会

6月 **日**
26日

整理券
配布中

会場 四日市市文化会館
第2ホール

時間 10:30~12:30
(開場10:00)



内閣府 令和4年度
「男女共同参画週間」
キャッチフレーズ

「あなたらしい」「あたらしい」社会へ
「あなたらしい」を築く、

特集

インタビュー

「男性の視点から男女共同参画を考える」

大妻女子大学人間関係学部 准教授 田中俊之さん



特集：男性の視点から男女共同参画を考える

男女共同参画週間に合わせ、男性学の第一人者である、大妻女子大学人間関係学部准教授の田中俊之先生にお話を伺いました。



男女共同参画は、女性だけではなく、男性にとっても当事者問題なのです

大妻女子大学人間関係学部 准教授
田中 俊之さん

Profile

1975年、東京都生まれ。博士(社会学)、大妻女子大学人間関係学部准教授 男性学を主な研究分野とする。

著書に『男性学の新展開』青弓社、『男が働かない、いいじゃないか!』講談社プラスα新書他多数。「日本では“男”であることと“働く”ということとの結びつきがあまりにも強すぎる」と警鐘を鳴らしている。

田中先生は、「男性学」が専門ということですが、「男性学」という言葉を初めて聞く人もいます。「男性学」とは、どのようなものなのでしょうか。

田中先生： 男性学とは、男性が男性であるからこそ抱えてしまう「男性問題」を扱う学問です。女性学の影響を受けて、1980年代後半に成立しました。

長時間労働が社会問題化した時期ですが、バブルの真っ最中で「24時間たかえますか」というCMソングを記憶されている方も多いのではないのでしょうか。中高年男性がたくさん働くことは、問題というよりもむしろ「良い」こととされていました。

現代の日本社会においても、残念ながら典型的な「男性問題」は働きすぎだと言えます。男女の賃金格差は、フルタイムでさえ10:7です。具体的に言うと、男性が30万円とすれば、女性は20万円にしかありません。

一般的に、男性が働けば働くほど家計が潤うので、なかなか長時間労働がなくなりません。職業領域での女性差別が、自分自身に働きすぎとして跳ね返ってきていることを、男性にはもっと理解してもらいたいです。

男女共同参画は、女性だけではなく、男性にとっても当事者問題なのです。

他にも、女性より2倍近く高い自殺率、経済的な理由での結婚難、そして、定年退職後の地域や家庭での居場所なども「男性問題」です。居場所の問題は、内館牧子さんの小説「終わった人」に分かりやすく描かれているので、ご関心があればぜひ読んでみてください。ちなみに映画化もされています。

平日の昼間に男性が街をウロウロしていると、それだけで不審者扱いされてしまう「平日昼間問題」もその一つですね。

先日のことですが、平日の昼間に6歳の長男と公園で鬼ごっこをしていたら、僕から逃げた息子が唐突に「誰か助けて!」と叫びました。「誘拐かな?」という周囲の視線を感じ、つらかったです。

追いかけているのが、女性だと不審に思われなことが、男性だったから、不審者?!と視線が集まってしまったと。男性は平日の昼間は、“仕事に行っているはずだ”という思い込み(ジェンダーバイアス)ですね。

「ジェンダーバイアス」は、人によって「生きづらさ」を感じる要因になるかと思いますが、どのようにお考えですか。

田中先生： 人を女性/男性のたった二つに分け、それにのっとった生き方を強いているわけですから、ジェンダーバイアスによって「生きづらい」と思う人がいるのは当然でしょう。

あの評判の悪い血液型占いでさえ、4種類あるんですよ。昭和はとっくに終わり、時代は令和です。でも、いまだに「男は仕事、女は家庭」という「常識」はそれほど大きくは変わっていません。

妻が「大黒柱」となって夫が「主夫」をしていると、働いている女性が「かわいそう」と思ってしまいませんか。家事・育児に専念している男性を「情けない」と感じませんか。これがまさにジェンダーバイアスの弊害です。

「誰もが生きやすい社会」になるためには、ジェンダーバイアスを解消していく必要があります。

男性の長時間労働は、男女共同参画社会を推進するうえで、大きな課題となっていますが、くしくもコロナ禍で、在宅勤務が広がってきたことは、働き方について見つめ直すきっかけにもなったかと思えます。ご自身や周りで、その変化を感じることはありますか。

田中先生： 大学がオンライン授業となり、在宅で働く中で僕自身も気がつくことがたくさんありました。

これまで家事も育児も頑張ってきたつもりでしたが、家にいる時間が長くなると、料理の献立やティッシュ、シャンプーなどのストックに目配りしている妻に比べて、僕は十分に家事をやっているとは言えないことを理解しました。妻からも「1日の家事・育児の流れがわかってよかったね」と言われました。

よく家事分担のチェック表を作ると夫婦喧嘩になるという話を聞きますが、男性からすれば「やってるつもり」でも、女性からしたら表面的なことしか「やっていない」と感じるのは当然ですね。

ただ、東日本大震災の時もそうでしたが、これだけ大きな災害があつて、一時的に社会が変わっても、しばらく時間が経つと元に戻ってしまう心配はあると思います。

日本の男性が家事・育児をしないのは、単純に時間がないからというのも理由の一つです。車であれ、電車であれ通勤時間が短縮できれば、その分だけ家事・育児に使えるわけですので、可能な職業では、オンラインを活用し続けて欲しいですね。

最後に、田中先生の考える「誰もが生きやすい社会」とは何でしょうか。

田中先生： 最近「ダイバーシティ&インクルージョン」という言葉をよく耳にします。

多様性を包摂することは大切ですが、どうしたら認め合うことができるのかを考えなければなりません。

例えば、渋谷区を皮切りに同性の方々に対してパートナーシップ証明書を発行する動きが、全国の自治体に広がっています。ただ、残念ながら、市民から否定的なリアクションがくることもあります。テレビではセクシュアルマイノリティの人々をたくさん見かけようになりましたが、現実問題としては偏見も差別も解消されていません。

これからの社会では結婚する人もいれば、しない人もいるし、子どもを持つ人もいれば、持たない人もいる社会になります。「誰もが生きやすい社会」でなければ、社会は成り立ちません。

「誰もが生きやすい社会」を実現する上で、個人ができるのはお互いに敬意を払うこと、そして、自分が変わることだと思います。人はどうしても自分に敬意を払ってもらいたいし、相手に変わってもらいたいと考える傾向があります。

自分を認めて欲しいなら、まずは相手を認めてみてはいかがでしょうか。そうすれば、人々の間に対話が生まれ、誰もが尊重されるような社会の実現につながっていきます。



“男女共同参画週間”

「男女共同参画社会基本法」の公布・施行日が平成11年6月23日であることにちなみ、毎年6月23日～6月29日は、男女共同参画週間とされています。この期間、「男女共同参画」について理解を深めてもらうことを目指して、さまざまな取り組みが行われています。

四日市市では、三重県内の市町が連携して開催される“三重県内男女共同参画連携映画祭”に参加しています。また期間中、はもりあ四日市では“本のリサイクル市”を開催します。

はもりあ四日市相談室からのご案内

ひとりで抱え込まず、まずはご相談ください

こんな相談を・・・

- 自分自身の生き方
- 男女のこと
- 家族のこと
- 職場の人間関係 など
- 夫婦のこと
- 離婚のこと
- 夫婦間・恋人間の暴力



婦人相談員による 女性のための電話相談

火曜日～土曜日 9:00～16:00
水曜日 18:30～20:30

《専用電話》

059-354-8335



- ★市内に在住、または通勤・通学する女性なら、どなたでも利用できます。
- ★お一人30分程度
- ★相談は無料です。
- ★秘密は厳守します。

男性の臨床心理士による 男性のための電話相談

毎月第4土曜日
13:00～16:00

時間延長

13:00～15:00
↓
13:00～16:00

《専用電話》

059-354-1070

- ★市内に在住、または通勤・通学する男性なら、どなたでも利用できます。
- ★お一人30分程度
- ★相談は無料です。
- ★秘密は厳守します。

開催予定の講座のご案内

予告

家族の絆を紡ぐ

女性のためのカウンセリング講座

～わたしを大切にするために、

家族とよりよくなつがる～

長期に及ぶコロナ禍にあって、夫婦関係、家族関係などで悩み、生きづらさを抱えていませんか。

よりよく親しい人とつながり関わるカウンセリング技法を学び学びませんか。

- ・日時 9月3日(土) 13:00～16:00
9月10日(土) 13:00～16:30
- ・講師 公認心理師・臨床心理士 石田 ユミさん
※Zoomによるオンライン開催です。

女性のカラダプログラム

～心とカラダのバランスを整えましょう～

忙しい毎日の中で、自分のヘルスケアは、つい後回しにしがちです。この機会に自分の健康について考えてみませんか。2回連続講座です。

- ・日時 第1回 健康講座
9月3日(土) 10:00～11:30
- 第2回 骨盤を整えるヨガ
9月10日(土)、17日(土)
10:00～11:30



※第2回のヨガ講座は人数の都合上、2回に分けて行います

- ・講師 第1回 いなべ総合病院 産婦人科部長 川村 真奈美さん
- 第2回 健康体操指導士、ヨガインストラクター 伊藤 爾己枝さん

※詳細は7月下旬号の広報よっかいちをご覧ください

四日市市男女共同参画センター はもりあ四日市



〒510-0093

四日市市本町9-8 本町プラザ3階

開館時間 9:00～21:00 (日・月曜日・祝日休み)

【TEL】059-354-8331

【FAX】059-354-8339

【Eメール】kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

ホームページは… はもりあ

検索

